R５グランドデザイン

掛川市立桜木小学校

学校教育目標〈学園共通〉

大志　共生　挑戦

重点目標

チャレンジしよう

～自分から　みんなで～

学校経営目標　児童・保護者・地域・職員が「桜木小でよかった」という学校をつくる

（1）特別支援教育を基盤とした多様性を認める教育を実践する。
（2）自ら考える力を育成するために、主体的な学習や達成感のある特別活動を通して、「自分ごと」となる教育活動を創造する。
（3）自己肯定感と他者尊重のバランスがとれた健全な自尊感情を具体の姿とする。
（4）教育活動の成果・進捗状況を積極的に発信し、実態に即した保護者・地域との連携・協働体制を築く。
（5）計画的・効果的な予算執行で、安全で明るく落ち着いた教育環境整備を行う。
（6）業務改善を進め、新しい働き方を皆でつくる。

研修推進委員会

自ら学ぶ授業

～学んだことをいかして、課題を解決する力の育成

◇ 対話したくなる課題設定

◇ 子どもと共有するルーブリック（学習評価）

主体性

学び部

他者意識

☆ 発信力を高める「伝える場の設定」

相手意識・目的意識をもって

◇ 対話を生む ICT 活用

☆ 学習環境を整える

◇ 基礎基本の定着　◇ 読書の充実

活動部

自分ごと

☆ 実行力を高める「やりますアクション」

◇ 達成感のある特別活動

～行事や学級活動、委員会・児童会活動

◇ 目標に向かって自主的に取り組む体力づくり

◇ 価値付けの場の設定「いいね掲示板」の活用

生き方部

☆ 自己肯定感を高める「こころの健康週間」

◇ 自分や友達の良さに気づき認め合う

◇ レジリエンス（しなやかでたくましい心と体）の育成

◇ 道徳での振り返り（自分も相手も大切）

◇ 自分と学校を輝かせる桜木小自慢のあいさつと掃除

・自分の考えを伝えている　90 %
・友達と話すことでわかるようになったことがある　90 %
・授業がよくわかる　95 %
・あいさつができる　90 %

・学校が楽しい　90 %
・自分のよいところが一つ言える　90 %
・みんなのために　自分のためにやりますアクションができる　90%
・開かれた学校づくりをしている 90%

生徒指導の三機能

（自己決定、自己存在感、共感的な人間関係）をいかす

◇ 安心・安全な学級・学校づくり　◇ 規範意識　◇ 一人を大事に寄り添う

◇ 初期対応・チーム対応　◇ 保護者・地域・学園間の連携・協働

桜が丘学園一貫教育

保護者　⇔　地　域

学校運営協議会

◇ 子どもの心のベースとなる家庭
◇ 生き方の手本となる大人
◇ 「家読」（家庭読書）の推進

◇ 地域コーディネーターを核とした支援
◇ 地域の団体・個人による学習支援
◇ まちづくり協議会等との安全・安心体制づくり

チャレンジで　みんな笑顔に